

第2回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会及び第6次高齢者保健福祉計画・第5期
介護保険事業計画策定に関する懇話会 議事要旨

日時	平成23年6月21日(金) 14:00~16:00
場所	東大阪市総合庁舎 18階 大会議室
出席委員	芦田委員、稲森委員、奥田委員、西口委員、西島委員、濱西委員、前田委員、 矢野委員、藪委員、吉田委員、
欠席委員	朝日委員、城戸委員、関川委員、西嶋委員、藤本委員、行松委員

1. 開会(高齢介護課 挨拶)

2. 議事

(資料の説明:事務局)

- (1) 報告案件 介護保険制度改正に関する国の動向等について(資料2)
報告案件 第6次高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画策定のための市民アンケートについて
- (2) 審議案件 第6次高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画策定について(資料3)
審議案件 市民アンケートの内容について
審議案件 高齢者等の現状と意向の把握のためのそのほかの作業について

(アンケート対象者への対応について)

委員

20 ページに及ぶ量の多い調査だが高齢介護課で電話の対応は可能か。問い合わせに関して他の手立てを考えているのか。

19 箇所の地域包括支援センターがあり、専門職で中身も理解できると思うので、そのような対応も考えてはどうか。

事務局

今回は国の調査と従来の市の調査を組み合わせた形になったので、前回よりもさらに分量の多いアンケート調査になっている。高齢介護課で特別の手立てをとる予定はないが、ここに表示してある電話番号で丁寧に対応させていただくつもりでいる。前回までの状況を踏まえると何とか対応は可能だと考えている。

地域包括支援センターにはアンケートの発送前後に情報提供をさせていただく。市が通常行っている7月上旬のケアマネージャーとの意見交換会で、可能ならケアマネージャーにもアンケートの情報提供をしてご理解を求めたい。

(「最期」という表現について)

委員

「最期をどこで迎えたいですか」という言葉にショックを受けた。文言に配慮がほしい。いろいろな方にこの文言を聞いてみたがやはりショックだということだった。特に高齢の方はそのように思われるのではないか。設問は置いておきたいと思うが、介護の方で「自宅で迎えたい」というのが非常に多いので、一致すればよいが。私も良い言葉はみつからない。この質問は「最期を自宅で迎えたい」という答えが明らかだが、病気なら入院、介護が必要なら家族に強いるわけにいかないのでは、施設に行くということではないか。国の調査でも同じではないだろうか。質問はやはり必要か。

事務局

良い言葉が見つからなかったことと、国の調査でも同じような項目が実施されているということから、本日の時点ではこのまま出しているが、良い案があれば再検討したい。

事務局

この質問はターミナルケアなどを後押しするデータとして使われることが想定されている。答えは想定される範囲だがデータは「想定される範囲だから取らない」ということはなく、取ることで施策のバックアップになる面もあるので今回は入れている。「最期」を「看取る」「看取られたいと思うか」という表現に変えることはできるし質問自体を外すこともできる。

会長職務代理者

調査項目は確定なので、「最期」という表現が直接的すぎるならば「看取る」などももう少し柔らかな表現にするという形で質問は設定するということとする。

(病状の質問について)

委員

病状調査のところに病名がたくさんあるが、問8と問9は一緒にできないか。もっと分かりやすく、現在の自分の健康状態と、現在このような病気をもっているが、将来介護にかかるのではないかと予備的な項目にしてはどうか。また前回お願いした家族介護のアンケートは前向きな視野ができ、介護される方にとっては一番ありがたいアンケートだと思われる。

事務局

問8の1は要介護の原因になった病気についての質問で、国の調査などでも使われている項目を挙げている。問9は現在、気をつけなければならない健康上の疾病や後遺症ということで、高齢者の健康づくり施策の中で重点を置かないといけない疾病を聞く質問である。行政の立場からはもれなく聞きたいということでこれだけの数になっている。どの分類に入るかわからないということがないよう、できるだけ例示をしておき、できればこのままいきたい。

(回収率について)

委員

期待する成果が出てくるか心配。現在東大阪市全域で、敬老事業参加者の申し込みを簡単な文章で記入用紙をつけて回覧しているが、このような簡単な調査ですら、説明文を読んでもただでないことが多い。よく読まずにとりあえず申し込む、またはおいておくという方がかなりおられる。噛み砕いて書いているつもりでもそのものずばりで書かないと伝わらない。このアンケートも良いものを作ってもまずこれだけの項目を見てくれるだろうかという心配がある。現在東大阪市では、ほとんどの地域包括支援センターのケアマネジャーと団体役員との連携が薄く、1年に1～2回の会合で挨拶をする程度というのが実態であり、ケアマネジャーとの連携についても非常に心配である。

前回5割の中身はどのように積み上げてきたのか。役所、包括支援センター、ヘルパー、ケアマネジャー、隣近所の支援やアドバイスなど全体の協力を仰ぐ方法はとらないのか。

事務局

質問数が多く前回の5割を確保できるかは心配な点である。一方で日常生活圏域ごとの傾向を出さなければならず、東大阪市の日常生活圏域、中学校区26校区ごとに一定数の回答を得なければ統計的な傾向が読み取れないため前回の回収率を参考にしながら発送数を決定している。あくまでも統計なので何とか有効な回答数は得られるものと思っている。この調査とは別に昨年1人暮らしの高齢者を対象にアンケートを行ったものがあり、その中で統計的に出てくる数字も、計画策定には参考にしたいと思っている。

事例数として残していないので、周りの協力がどのくらいあって5割になったかは不明。アンケート発送を7月上旬、回収を下旬という日程の中で、地域包括支援センターなどへのアンケート実施の情報提供、地域団体やケアマネジャーへの協力要請など、手助けいただけるところにはお願いしたい。

(対象者の抽出について)

委員

老人クラブには現在31,000人いるが、年間800～1,000人の方が亡くなられる。すでに亡くなられた方のところにアンケートが届くということが心配である。

昨日まで元気で仲良くされていたご夫婦も、体が悪くなり介護されている方が出てくる。福祉事務所や民生委員さんもがんばっておられるが、そのような方への介護も、またお願いしないといけないことである。地域の声を多く聞いていただけたらと思う。

事務局

発送ぎりぎりの直前のデータで抽出する。今回は6月末時点の住民登録、外国人登録からピックアップするが、時点のズレは避けがたいこととしてあるかもしれない。

会長職務代理者

いろいろな意見を頂戴したが、このアンケートについては基本的にこの形でご了解いただいて、会長一任ということで7月初旬のアンケート送付で進めさせていただく。

(介護者向けアンケートについて)

会長代理

介護者の属性について、要介護者本人からの回答なら問題ないが、誰が回答されたかということについては聞いた方がよいのではないかと。

事務局

高齢者ご本人に対するアンケートについては、介護されている方が回答されるケースも何割かは出てくると思うので質問している。介護者向けアンケートについても老老介護などで、記入が面倒、難しいということもあるので検討して質問に入れる方向で考えたい。

会長職務代理者

介護者へのアンケートは今回が初めての実施であり、行うこと自体に意義がある。内容などについては検討するということなので何かあれば事務局にご意見をお寄せいただき、最終的には会長一任という形で、進めさせていただく。

(ケアマネジャー対象アンケート調査及び地域包括支援センターへのヒアリングを行って、高齢者ニーズなどの把握のための資料としたいという提案について)

会長職務代理者

事務局案の通りに進めていただく。早急に事務局案を作成していただいた上で、最終的な内容については会長一任で決定させていただく。本日会長は不在であるが、会長一任ということで、決定した内容については、事務局からそれぞれの委員に文書で報告していただきたい。

(資料の説明：事務局)

(2) 審議案件 第5次高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画進捗状況について
(資料1)

事務局

高齢者地域ケア会議に「認知症を知る地域講演会」の追加があったが、それを受けて13ページの啓発事業の「認知症を知る地域講演会」も、平成21年度が4回になり各287名に変更、20ページの生活圏域で、第一で「枚岡」と第七で「柏田」の文字の訂正をお願いする。

委員

予算が暫定予算になっていることが懸念である。地域包括センターの中でも言われたが、暫定予算だとともに前年度と同じように100%出るものかどうか心配している。市の方に、福祉や高齢介護に関するものは暫定にせず予算を組んでほしいという要望を出してほしい。

事務局

そのようなご意見を頂戴したということは報告させていただく。

(資料の説明：事務局)

(2) 審議案件 今後の進め方について(資料4)

会長職務代理者

国の指針もこれから示されるということで、まだ少し不明確な点もあるが、その点議論の余地もあるということをご了解いただいた上で、このスケジュールで進めさせていただく。適宜皆様にご連絡差し上げる。次回、第3回開催日は、9月26日(月)の予定である。

以上